

指定管理者評価シート

事業名	公園管理費	所管課(電話番号)	建設局みどりの推進部みどりの管理課 (211-2536)
-----	-------	-----------	---------------------------------

I 基本情報

1 施設の概要			
名称	百合が原公園	所在地	札幌市北区百合が原公園210番地
告示年月日	昭和58年7月15日	面積	253,816㎡
公園種別	総合公園		
目的	都市公園の健全な発達を図り、もつて公共の福祉の増進に資すること。		
事業概要	百合が原公園の維持管理及び運営(園内の維持管理、管理事務、園内の安全確保に関する業務)		
主要施設	世界のユリ広場、世界の庭園、遊戯広場、都市緑化植物園、温室、リリートレイン		
2 指定管理者			
名称	公益財団法人札幌市公園緑化協会		
指定期間	平成30年4月1日～令和5年3月31日		
募集方法	公募 非公募の場合、その理由:		
指定単位	施設数:1 複数施設を一括指定の場合、その理由:		
業務の範囲	公園維持管理業務、有料公園施設(温室、世界の庭園、リリートレイン)運営(利用料金制度)		
3 評価単位	施設数:1 複数施設を一括評価の場合、その理由:		

II 令和2年度管理業務等の検証

項目	実施状況	指定管理者の自己評価	所管局の評価				
1 業務の要求水準達成度							
(1) 統括管理業務	<p>▽ 管理運営に係る基本方針の策定</p> <p>当公園の効果的な管理運営を目指して、緑化協会の《理念》と運営方針に掲げる《公益性「5つのK」》を基とした、以下の『基本方針』を策定した。</p> <p>▼平等・公平な利用の機会を確保し、公共の福祉増進の場としての利用効果を高める。</p> <p>▼関係法令・条例等を遵守し、利用者や市民の声の反映に努め、開かれた管理運営による、安全で安心、快適な利用環境を提供する。</p> <p>▼資源・施設の長寿命化を念頭に置き、効率的な管理運営による経費削減を図り、安定した質の高いサービスを提供する。</p> <p>▼自己実現、生涯学習の場として当公園の積極的な利用を促すため、市民や関係諸団体・機関等との連携・協働を推進し、活動の場としての魅力を高める。</p> <p>▼フラワーパークとしての魅力ある景観を提供し公園の魅力・価値の向上を図るとともに、市民園芸の技術や情報の発信を担う。</p> <p>▼花と緑の活動拠点としてボランティアや植物愛好会を通じた市民緑化の普及を目指す。</p> <p>▽ 平等利用に係る方針等の策定と取組実績</p> <p>▼スタッフへの平等利用に関する教育指導の徹底のために接遇講習、未受講受付スタッフのサービス接遇検定3級取得、未受講スタッフのバリアフリー講習を実施し、平等利用に関する意識・技術の向上を図った。</p> <p>▼平等利用を阻害する違法・不正行為</p> <p>ペットの放し飼い、ゴルフ、花火、火気の使用等の行為に対して、巡回・指導を計画通り実施した。</p> <p>▼平等利用のための各種取組み</p> <p>車いす15台の配置、ホームページは、日本語、英語、中国語(簡体・繁体)、韓国語ページ対応、日本語、英語・中国語(簡体)のパンフレット配置、授乳室の設置とミルクのお湯の提供等について、計画通りに実施した。なお、緑のセンターの休館日は、管理事務所に貸出用車椅子を配置し、スタッフ更衣室を授乳室として貸出した。また、公園内のレストランに授乳室を設置し、利便性の向上を図った。</p> <p>▼札幌市と連携しリードをつないで楽しくお散歩キャンペーンを実施し、チラシ入りポケットティッシュの配布等を行い愛犬家のマナー向上を図った。</p> <p>▼新型コロナウイルス感染拡大防止対策による4~5月の施設閉鎖の際には、迅速なHPや掲示による情報発信により周知を図り、混乱防止に努めた。</p>	<p>公園の設置目的に沿って、公園の価値を高めるための基本方針の策定を行った。</p> <p>また、緑の基本計画に沿って、公園の特徴を活かした百合が原公園ならではの地域コミュニティの活性化とともに都市緑化の普及・啓発を目的として、重点基本方針を策定した。</p> <p>また、基本方針に基づいて業務計画を策定し、実施においては、日常的に点検と評価改善を行い、業務を実施できた。</p> <p>計画に沿って、スタッフの教育を実施するとともに、マナー違反の利用者に対し、ペットに関連する巡回時の利用指導を行った。</p> <p>なお、常に利用者と接する受付スタッフや新規採用職員の接遇研修の実施や資格検定の受験を行い、公平・平等な利用者対応に努めることができた。利用者の条件差による不都合が発生しないよう、動線確保や不陸の改善に努め、施設の破損や工事等の情報を適切に発信し、円滑な利用に努めた。また、新型コロナウイルス感染拡大防止対応として、施設の利用規制を混乱なく行い、平等利用の確保に努めることができた。</p>	<table border="1" data-bbox="1249 293 1452 327"> <tr> <th>A</th> <th>B</th> <th>C</th> <th>D</th> </tr> </table> <p>基本方針に基づき業務計画を策定し、適正な管理運営がされていると判断します。</p> <p>研修の実施や資格検定の受講によりスタッフの意識向上を図っていることや、計画的な巡回・指導がなされ、多くの市民が快適に利用できると判断します。</p>	A	B	C	D
A	B	C	D				

▽ 地球温暖化対策及び環境配慮の推進

▼北海道環境マネジメントシステムを運用し、EMSの目的・目標の達成に向けて取り組んだ。EMS研修を年1回実施するとともに、環境目標について、毎月の測定結果の貼り出しと、ミーティング時に進捗状況の情報共有を図った。

▼電気使用量を、R1年度実績を上回らない。
(結果:R1年度比96.9%となり、目標を達成した。)

▼ノー残業デーの超過勤務時間の合計が、R1年度実績を上回らない。
(結果:R1年度比50.9%となり、目標を達成した。新型コロナウイルス感染防止のために、残業時間の抑制を図ったことによる。)

▼ノー残業デーにおいて、超過勤務時間の合計がゼロの日数について、R1年度実績を下回らない。
(結果:R1年度比68.4%となり、超過勤務時間ゼロの日が減少した。新型コロナウイルスの感染防止のために、作業員に時差出勤を採用したため、管理職員の残業回数が増加した。)

▼特定外来生物の侵入軽減(オオハンゴンソウを対象として維持管理業務において駆除を行う)。当公園では侵入状況の確認(被度の記録)と駆除後の状況の確認(被度の記録)を行う。

(結果:侵入を確認し全て駆除した。駆除量3.4kg)

▼食用廃油回収量をR1年度の回収量の1/2を下回らない。

(結果:R1年度比82.6%となり、目標を達成した。)

▼生物多様性さっぽろ活動拠点ネットワークに加盟しポスター掲示、緑化講習会や学校の職場体験、インターンシップを通じ環境教育を行った。

EMSの運用において、左記の環境目標を定め、環境への配慮に取り組んだ。

ノー残業デーの勤務超過時間ゼロの日数が前年度より増加したが、新型コロナウイルス感染防止を目的とした作業員の時差出勤に起因するもので、残業時間自体は減少しているため、取り組みとしては成果が出ており、目的は達成したと捉えている。

食用廃食油は、回収施設の休館があったが、前年比82.6%と目標を達成した。花苗のプレゼントなどにより、利用者に回収についての取り組みが浸透してきていると捉えている。

オオハンゴンソウは、定期的な確認により早期に侵入を確認し、駆除を行った。

なお、継続して生物多様性さっぽろ活動拠点として、札幌市の生物多様性の取り組みPRを行うとともに、各園芸講習会、職場体験において公園発生材のリサイクルの取り組みを紹介し、市民への環境教育の普及・啓発に取り組めた。

食用廃食油の回収について、花苗のプレゼントなど回収につながる取り組みについて、評価します。

園芸講習会や公園発生材のリサイクル取り組み等、市民への環境教育の普及・啓発に取り組んだことを評価します。

▽ 管理運営組織の確立(責任者の配置、組織整備、従事者の確保・配置、人材育成)

- ▼業務分担、指揮命令系統、連絡等を定めた。
- ▼4-6月の施設閉鎖による受付人員を除き、計画に沿って人員を配置した。
- 新型コロナウイルスの感染防止を目的として、4-11月まで作業スタッフに対して時差出勤を導入した。
- ▼刈払い機特別教育等の資格取得、また樹木剪定研修会を実施するなど、作業に必要な資格や技術の取得とともに人材の育成に努めた。
- ▼未受講者は、接遇技術向上のためにサービス接遇実務検定を取得した。
- ▼その他、当初の研修計画に基づき職員及び臨時職員を対象に研修を実施した。

▽ 管理水準の維持向上に向けた取組

- ▼職員が講師となり、スタッフを対象に各種教育訓練を計画通り実施した。
- ▼石等の飛散が無いリール式の草刈機械、飛散防止刈払機アタッチメントのカルマーを積極的に使用し、安全と効率の向上を図った。
- ▼蜂の巣を処理するための防護服を使用して、安全管理水準の向上に努めた。
- ▼園内の各駐車場前に設置している、開花情報等の案内板や地下鉄掲示板、北区役所掲示板等を活用することで広く情報を発信し、利用者の満足度の向上を図った。
- ▼ホームページにイベント等の情報を掲載し、円滑な公園利用の向上を図った。
- ▼イベント情報をマスメディアに情報提供するとともに、広報担当スタッフを配置することで取材の効率化を図り公園の活性化を図った。
- ▼組織内の1級造園技能士及び樹木医を講師とする樹木剪定技術指導研修を実施した。
- ▼ユリやバラ栽培の専門家による技術研修会を実施し、スタッフの技術の向上を図った。
- ▼ユリ協会が実施する生息調査などに積極的に参加し、知識・技術の向上とともにネットワークの構築に努めた。
- ▼英国王立園芸協会のユリ部会とのユリ種子の交換を行い、展示植物の充実を図った。
- ▼ロシアで開催されたライラック国際オンライン会議に参加し、関連情報の収集を図った。

計画に沿った人員を配置し、人材育成を行った。人員配置及び人材育成について計画通りに実施した。

各業務においては、PDCAサイクルを運用し、管理水準の向上に努めた。特に安全教育に重点を置き、毎朝の危険予知活動、定期的な安全教育を行い、スタッフ一人一人の安全意識の向上に努めた。また、広報担当スタッフを配置し、様々な媒体による広報を行い、幅広い年齢層に情報を発信し利用者の増加を図った。管理に必要な資格保持者の増加を図った他、ユリやバラの栽培や剪定に関する技術研修を実施し、管理技術の向上を図った。英国王立園芸協会のユリ部会とのユリ種子や情報交換の他、ライラック国際会議に参加するなど、海外での技術や事例などの情報収集を積極的に行うなど、管理水準の向上に取り組むことができた。

計画に沿った職員が配置されており、適切な組織の確立がなされていると判断します。

英国王立園芸協会のユリ部会との情報交換や、ライラック国際会議への参加等、海外の事例について積極的に情報収集したことについて評価します。

▽ 第三者に対する委託業務等の管理(業務の適正確保、受託者への適切監督、履行確認)

以下の業務については第三者に委託し、管理・監督を適正に行い業務を遂行した。

- ・管理事務所等機械警備、入金機設置・現金運搬、夜間巡回警備及び門扉開閉業務業務
- ・緑のセンター自動ドア保守点検業務
- ・管理事務所等消防設備点検業務
- ・緑のセンターボイラー設備点検業務(ばい煙測定含む)
- ・電気保安業務、エネルギー管理業務
- ・トイレ清掃、公衆トイレ維持管理業務
- ・カン・ビン等処理業務
- ・産業廃棄物処理
- ・遊具等保守点検業務
- ・駐車場交通誘導警備業務
- ・リリートレイン運行業務
- ・リリートレイン運行前点検整備
- ・踏切遮断器、軌道点検
- ・カラスの巣撤去・子ガラス保護業務、ハチの巣駆除
- ・地下貯蔵タンク漏洩検査業務
- ・除雪業務
- ・建築設備定期検査業務
- ・危険木、枯死木伐採

▽ 札幌市及び関係機関との連絡調整(運営協議会等の開催)

開催回	協議・報告内容
R3.3.8	管理業務の実施状況
	管理運営上の問題点
	利用者の声(苦情・要望、アンケート等の集計・分析結果)、及び対応状況
	自主事業の実施状況
<協議会メンバー>	
札幌市みどりの推進部みどりの管理課 みどりの管理係長、公園維持係長、担当者2名 (公財)札幌市公園緑化協会 事業2課長、百合が原公園技術主査	

▼北海道蘭友会、札幌さつき会、北海道さつき会、オーキッド・ユウ・アーク、酪農学園大学、自然遊びどろっぼの会等の各団体と連絡調整を図り展示会・イベントを協働で実施した。

委託業務については、業務の適正確保、受託者への適切な監督、履行確認を行い、適正に遂行していることを確認した。

適切な管理が実施されていると判断します。

札幌市との運営協議会を1回開催し、施設・設備の修繕及び改修や管理運営についての課題を共有するとともに、その解決に向けて協議を行い、成果のあるものとなった。

運営協議会が開催され、管理運営水準の向上に向けた協議を行っている。

感染防止対策を取りながら植物愛好会等と連携したイベントや展示会・講習会を開催し、来館者から好評を得た。

	<p>▽ 財務(資金管理、現金の適正管理)</p> <p>▼資金管理については、指定管理業務や自主事業等、公園ごとに区分しており、現金等の取扱いについては点検、調査を行っている。事務局経理事務担当者による現金出納簿の確認、月末締め現金出納簿と売上金口座入金状況の確認を随時行っている。</p> <p>▼当協会の規定に基づき、現金や金券類、預金通帳等の施錠管理や帳簿類の内部監査を年2回実施しているほか、公認会計士2名による外部監査を導入している。</p> <p>▼現金等の取扱いに関しては、現金取扱規定を整備しており、管理体制の強化及び不祥事防止の取組みを行っている。</p>	<p>札幌市の検査・監査には適切に対応した。また、改善が必要な事項等については、各公園・施設のマネージャーを通じ、公園・施設の担当者へ周知徹底を図った。</p> <p>不正行為や事故発生の未然防止のため、複数名による現金等の確認を徹底した。</p> <p>不正経理等の事故は発生していない。</p>	<p>適切に管理されているものと判断します。</p>
	<p>▽ 要望・苦情対応</p> <p>▼要望・苦情対応については、スタッフ雇用時の接遇研修の中で苦情対応についての研修を実施した。</p> <p>▼要望・苦情の発生時には、文書回覧及び朝のミーティング時に苦情・要望の内容をスタッフ全員で情報を共有した。</p> <p>苦情・要望15件</p>	<p>苦情・要望については、都度の情報共有を行うとともに、丁寧な説明・対応を心がけ、スタッフ研修と発生後の迅速な対応を特に重視したことで、的確な対応を図れたと捉えている。</p>	<p>適切に対応されていると判断します。</p>
	<p>▽ 記録・モニタリング・報告・評価(記録、セルフモニタリングの実施、事業報告、札幌市の検査等への対応、自己評価の実施)</p> <p>▼記録・報告等を計画通りに適切に実施した。</p> <p>▼自己評価を月単位で行い、業務の改善、利用者の増加に努めた。</p> <p>▼アンケート調査を実施し、管理運営に役立てている。</p> <p>▼要望、意見については、公園管理運営等に役立てるため、情報の共有を行っている。</p> <p>▼札幌市の業務等検査にも適切に対応した。</p>	<p>記録・モニタリング・報告・評価を適切に実施するとともに、利用者からの情報を収集、改善、反映し、管理運営の向上を図った。</p>	<p>適切に記録され報告を受けております。</p>

(2)労働関係法令遵守、雇用環境維持向上	<p>▽ 労働関係法令遵守、雇用環境維持向上</p> <p>▼スタッフの雇用に関して、労働基準法、最低賃金法、労働安全衛生法、労働者災害補償保険法、健康保険法・厚生年金保険法、雇用保険法、労働契約法、男女雇用機会均等法、次世代育成支援対策推進法、女性活躍推進法、育児休業・介護休業等に関する法律、労働保険の保険料の徴収等に関する法律、その他関連する法令等に基づき、主として以下のような届出・対応等を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全てのスタッフに対し、北海道最低賃金861円(令和元年10月3日発効)以上の時給を支給した。 ・施設で働く職員に対し、時間外労働・休日労働及び深夜残業をさせた場合、それぞれ法定割合以上の割増賃金を支払った。 ・就業規則・要綱の改正を行い、札幌中央労働基準監督署に適切に届け出ている。 ・全スタッフの就業時間や休日等について、労働基準法を遵守した。 ・スタッフに時間外労働又は休日労働をさせるにあたり、書面による労使協定(36協定)により必要な定めをし、札幌中央労働基準監督署に届け出た。 ・全てのスタッフを労災保険適用とし、条件を満たすスタッフを雇用保険に加入させた。 ・労働保険料等算定基礎賃金等の報告を北海道労働局へ提出し、労働保険料を納付した。 ・スタッフの勤務形態、家族状況等に応じて健康保険・年金保険資格を取得するよう、適切に届け出を行った。 ・年1回の定期健康診断及びストレスチェックを実施した。 ・短時間雇用管理者を選任し、北海道労働局へ届け出た。 ・有期雇用契約者のうち、無期転換申込権が発生した者に対して周知し、希望の申し込みを随時受け付けた。 ・次世代法及び女性活躍推進法に基づく一般事業主行動計画を実施している。 <p>▼安全衛生委員会を設置し、毎月1回、各公園・施設のマネージャーの代わりに担当課長が経営会議に出席して委員会を開催し、職場の安全確保及び健康障害の防止に係る議題について検討し、結果をスタッフに周知して、健全な職場環境の実現に努めた。</p> <p>▼維持管理作業従事者を対象に、作業における安全確保や機械の取扱いに関する講習を実施した。</p> <p>▼ワーク・ライフ・バランスの実現に向けて、育児休業等の取得奨励、職場内コミュニケーションの活性化、有給休暇取得の奨励、ノー残業デーの設定などの取り組みを行った。</p> <p>▼公的資格の取得支援、接遇や安全・技術等に関する内部研修の実施、優秀なスタッフや高齢者の継続雇用など、雇用環境の整備により、市民サービスの向上等に結びつく取り組みを行った。</p> <p>▼第三者への委託業務について、受託者に当該業務従事者の労働環境に関わる情報提供を求めた。</p> <p>▼女性活躍推進法に基づく認定制度「えるぼし」において、女性の活躍推進に関する状況等が優良な団体として「認定段階3」を受けている。</p>	<p>指定管理施設の現場と本部事務局との連絡調整を密にするとともに、関係機関への必要な届出を迅速かつ確実に行うなど、労働関係法令を遵守し、すべての関係手続きについて適切に対応できた。</p> <p>当協会での労働災害発生ゼロを目指して、毎朝のKY活動、ヒヤリハット事例の共有、安全大会の開催(新型コロナウイルス感染拡大防止の為、各公園単位で開催)、安全講習の実施等に取り組んだ。事故が発生した際には、安全衛生委員会において、原因検証と再発防止の検討を実施した。</p> <p>安全な職場環境の実現と、スタッフの雇用環境の向上を進めるなかで、市民サービスの向上につなげることができた。</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th>A</th> <th>B</th> <th>C</th> <th>D</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="4">適切に法令遵守に努めていると判断します。また、事故が発生した際には、原因検証を行い、再発防止対策の検討をしており、事故防止についての取り組みに努力が伺えます。</td> </tr> </tbody> </table>	A	B	C	D	適切に法令遵守に努めていると判断します。また、事故が発生した際には、原因検証を行い、再発防止対策の検討をしており、事故防止についての取り組みに努力が伺えます。			
	A	B	C	D							
適切に法令遵守に努めていると判断します。また、事故が発生した際には、原因検証を行い、再発防止対策の検討をしており、事故防止についての取り組みに努力が伺えます。											

			<table border="1"> <thead> <tr> <th data-bbox="1249 125 1305 159">A</th> <th data-bbox="1305 125 1361 159">B</th> <th data-bbox="1361 125 1417 159">C</th> <th data-bbox="1417 125 1445 159">D</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="1249 159 1305 840"></td> <td data-bbox="1305 159 1361 840"></td> <td data-bbox="1361 159 1417 840"></td> <td data-bbox="1417 159 1445 840"></td> </tr> <tr> <td data-bbox="1249 840 1305 2116"> <p>安全確保、サービス向上に向けて、定期的に教育訓練をするなど、適切に実施しているものと判断します。</p> </td> <td data-bbox="1305 840 1361 2116"></td> <td data-bbox="1361 840 1417 2116"></td> <td data-bbox="1417 840 1445 2116"></td> </tr> </tbody> </table>	A	B	C	D					<p>安全確保、サービス向上に向けて、定期的に教育訓練をするなど、適切に実施しているものと判断します。</p>			
A	B	C	D												
<p>安全確保、サービス向上に向けて、定期的に教育訓練をするなど、適切に実施しているものと判断します。</p>															
<p>(3) 施設・設備等の維持管理業務</p>	<p>▽ 総合的事項(利用者の安全確保、市民サービス向上への配慮、連絡体制確保、保険加入)</p> <ul style="list-style-type: none"> ▼利用者の安全については、日常及び定期的な点検により、危険箇所を早期に発見し処置を行った。また、団体利用や植物の開花状況に応じて、混雑箇所を特定し作業場所や作業内容、作業車の走行経路などを作業計画に反映させることにより、利用者の安全を確保した。 ▼AED・蜂毒吸引器、担架等の備品の配備及び点検をおこなった。 ▼定期的に消防・防災・救命訓練を実施し、緊急時の避難誘導などの処置の確認を行った。 ▼拾得物の取扱いについては、当協会の規定に沿って対応し、迅速に対応できるよう台帳を作成し、利用者のサービスに努めた。 ▼連絡体制を通常と緊急に分けて整備し、適正な業務の遂行に努めた。 ▼損害賠償責任保険は、要求水準に適合したものに加入した。 <p>▽ 施設・設備等の維持管理(清掃、警備、保守点検、修繕、備品管理、駐車場管理、緑地管理等)</p> <ul style="list-style-type: none"> ▼施設・設備の維持管理を適切に実施し、仕様書の水準を達成した。 ▼緑のセンター・管理事務所・園内トイレの清掃、施設の機械警備及び春から秋の夜間巡回警備を実施し施設の保全と防犯に努めた。 ▼運行前のリリートレインの車両点検、踏切遮断機及び軌道の点検を実施し、安全確保を図った。 ▼専門業者による遊具等の点検、緑のセンターボイラ点検・自動ドア点検、消防設備点検を実施した。 ▼草刈機の修繕・整備を指定管理者で実施した。 ▼建築設備定期検査を実施した。 ▼第1、2駐車場の区画線補修を指定管理者で実施した。 ▼春から夏期間の土日祝日の混雑時、駐車場に交通誘導員を配置し混雑の緩和を図った。 ▼園内ベンチについては、降雪前に撤去し、冬期間に塗装等のメンテナンスをして再設置した。 ▼札幌市貸与備品の点検を実施した。 ▼園内の緑地管理においては、特に人気の春のムスカリの道、夏のユリ、秋のダリアの開花に合わせた維持管理を行い、緑のセンター温室では、各種展示会に合わせた植物の準備を行い、利用者へ百合が原公園ならではの景観を提供した。 <p>▽ 防災</p> <ul style="list-style-type: none"> ▼防災計画を策定するとともに、消防・防災訓練を実施した。 また、EMSの緊急事態として想定している火災、地震、強風等の災害を想定し、手順書に沿ってスタッフ研修を行った。 ▼ハザードマップを整備し、過去に発生した台風などによる倒木が多発する箇所を特定し、強風時の立入禁止処置を事前に行い、利用者の安全確保に努めた。 ▼新型コロナウイルス感染防止のため、各所に手消毒液の設置、各施設の定期的な消毒・換気、ソーシャルディスタンスの確保、遊具の間引き開放、時差出勤、作業や休憩場所の分散などにより利用者スタッフの安全確保に努めた。 	<p>施設の不具合の早期発見、天候、利用状況に注意を払い、作業計画に反映させるとともに、危険予知による早期の施設の閉鎖などにより利用者の安全確保に努めた。</p> <p>また、スタッフに対して、定期的に教育訓練を実施していることで、急病者発生時にも搬送手配など役割を分担して、適切に対応ができた。</p> <p>各施設・設備の維持管理を計画に沿って適切に実施した。また、指定管理者が担う修繕等、所管の札幌市と協議が必要な修繕等について整理し、管理運営に支障を来たさないよう対応するとともに、長寿命化に取り組んだ。なお、緑地の維持管理や来園者の利便確保・安全対策においても、混乱なく、十分に対応できたと捉えている。駐車場においては、混雑時の交通誘導員配置、民家周辺に駐車禁止表示の設置、冬期の駐車場拡幅により、円滑な利用を確保した。</p> <p>緊急事態に対応するために訓練に取り組み、防災対応手順に則り、予防対策、発生時対策を実施し、公園内では事前に立ち入り禁止区域及び迂回路を設け、利用者の安全確保に努めた。また、施設の臨時休館、自主事業の中止等の情報発信について混乱なく行った。</p>	<p>指定管理者が担う修繕等、札幌市と協議が必要な修繕について整理し、情報共有したことについて評価する。今後も安全管理やベンチの塗装等のメンテナンスを行い、施設の長寿命化に取り組んでいただきたい。</p> <p>新型コロナウイルス感染拡大に伴う臨時休館等について、適切に対応した点を評価する。</p>												

			<table border="1"> <thead> <tr> <th>A</th> <th>B</th> <th>C</th> <th>D</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="4" data-bbox="1249 165 1449 521"> 百合が原公園の特徴を生かした活用ができていますと判断されます。また、コロナウイルス感染拡大防止に伴い、イベントの中止があった中、計画目標を上回る展示会の来場者数を達成した点を評価します。 </td> </tr> <tr> <td colspan="4" data-bbox="1249 931 1449 1016"> 適正に運営されていると判断します。 </td> </tr> </tbody> </table>	A	B	C	D	百合が原公園の特徴を生かした活用ができていますと判断されます。また、コロナウイルス感染拡大防止に伴い、イベントの中止があった中、計画目標を上回る展示会の来場者数を達成した点を評価します。				適正に運営されていると判断します。			
A	B	C	D												
百合が原公園の特徴を生かした活用ができていますと判断されます。また、コロナウイルス感染拡大防止に伴い、イベントの中止があった中、計画目標を上回る展示会の来場者数を達成した点を評価します。															
適正に運営されていると判断します。															
(4)事業の計画・実施業務	▼ 講習会・展示会、相談業務 ▼植物に関する講習会 10回実施 受講者58人(計画440人) 新型コロナウイルス感染拡大防止のため10回を中止。 ▼植物に関する展示会 11回開催 入場者44,141人(計画42,000人) 新型コロナウイルス感染拡大防止のため10回を中止。 ▼緑の相談業務を9月～11月上旬の木、日曜日に実施し、434件の相談を受け付けた。 新型コロナウイルス感染防止のために、4-8月まで休止。 ▼ ボランティアに関する市民の自主活動及び交流の支援業務 ▼ボランティアコーディネーターを配置した。 ▼ボランティアの活動状況 ローズヒップ(バラ管理)活動13日 延べ78人(前年比40人減) クローバー(宿根草管理)活動14日 延べ85人(前年比30人減) ミモザ(温室植物管理)活動28日 延べ133人(前年比192人減) ガイド(公園ガイド)活動7日 延べ61人(前年比148人減)	新型コロナウイルスの影響により、約半数のイベントを中止とした。講習会・展示会の開催において、フラワーパークとしての特徴を生かしたイベントを計画実施した。参加者に北国札幌の気候に即した植物の展示と栽培技術の普及を図ることができたと捉えている。また、緑の相談についても、札幌での実践的な園芸の相談業務を実施できたと捉えている。 専任のボランティアコーディネーターを配置し、みどりの基本計画に則り、ボランティア活動を積極的に支援し、公園景観の向上と市民交流活動の活性化に繋げることができた。なお、新型コロナウイルス対策として、作業間隔の確保や、活動時間の短縮、市内の感染状況に応じて活動を休止するなど、ボランティアの安全を確保しながら活動を行った。													

▽ 植物に関する情報収集及び提供業務

▼各展示会において植物の歴史や分布、文化についての情報収集を行い、緑のセンター温室等で解説版による利用者への情報提供を行った。
 ▼スタッフによる市民向けの園芸講習会を実施し、業務で蓄積した技術や情報を発信し、市民への還元を行った。
 ▼プレスリリースによりマスコミを通じての情報提供を行い、広く市民等への情報発信を行った。
 ▼イベントや開花情報を指定管理者が発行している情報媒体のさっぽろ公園だより・緑のセンターだよりへの掲載や、園芸誌、大通情報センター、ホームページや園内掲示板、地下鉄掲示板、北区役所掲示板などを多様な媒体を活用し、幅広い層への情報発信を行った。
 ▼ユリ協会をはじめとして、英国、台湾などのユリに関する栽培・研究者等と栽培技術、知識に関する情報交換を行い、その情報を解説版等にして利用者へ提供した。
 ▼国際ライラック協会その他、アメリカ、ロシア、韓国などのライラックの栽培・研究者や、国際ライラックオンライン会議に参加して情報収集を行い、利用者への提供を行った。
 ▼植物愛好会と連携して洋ラン、多肉などの育て方の講習会を通じて、専門的な情報を発信した。
 ▼酪農学園大学と提携して、ユリの育種についての共同研究及びそれらの展示会を開催し、ユリの普及に努めた。

情報発信はフラワーパークの務めであり、集客のための不可欠な手法であることを踏まえ、効果的に対応できたと捉える。また、コロナ禍の状況だが、国内外との情報交換を行い、公園の価値向上に努めたと捉えている。

積極的な情報提供に努めていることを評価します。

(5) 施設利用に関する業務

▽ 利用件数等(有料利用者数)

		R1実績	R2計画	R2実績
温室	件数(件)	—	—	—
	人数(人)	61,268	57,000	61,353
	稼働率(%)	—	—	—
世界の庭園	件数(件)	—	—	—
	人数(人)	24,954	21,000	28,406
	稼働率(%)	—	—	—
リゾートレイン	件数(件)	—	—	—
	人数(人)	65,869	56,000	48,284
	稼働率(%)	—	—	—

有料施設の利用人数は、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、各施設を4-5月の間、営業休止した。また、利用の過密を避けるために展示会の中止や広報を自粛した。緑のセンターと世界の庭園では、公園に対する安心感からか、利用人数が昨年実績及び計画ともに増加した。
 リゾートレインは、座席を間引きして運行したことにより、利用人数が減少した。

A B C D

新型コロナウイルス感染拡大防止のため臨時休館もあった中、臨機応変に運営されていると判断します。

	R1実績	R2計画	R2実績
イベント	2	—	11
学校行事	103	—	10
その他	468	—	103

▽ 不承認 0件、取消し0件、減免88,064件、還付0件

▽ 利用促進の取組

▼新型コロナウイルス感染拡大防止措置により、中止とした事業以外は、展示会、講習会等の自主事業を計画通りに実施した。

(6)付随業務	<p>▽ 広報業務</p> <p>▼専任の広報担当スタッフを配置し、広報さっぽろ地デジアプリ、イベント情報のほか、ホームページ、マスメディアへの情報の投げ込み、有料広告、市内観光案内所との連携、地下鉄掲示板や北区掲示板の活用を行う等、広報活動の積極的な取り組みを行った。利用の過密を防ぐために、屋外の植物を中心とした広報活動を行った。</p> <p>▼新型コロナウイルス対策として、利用の規制や施設休止などの周知も迅速に行い、大きな混乱なく対処した。</p> <p>▼ホームページのアクセス数は246,800件となり、前年比125%と増加した。</p> <p>▼公園ホームページについてのウェブアクセシビリティ取組確認・評価表を公開した。</p> <p>▽ 引継ぎ業務</p> <p>▼前回から継続指定を受けており、引継ぎ業務はない。</p>	<p>専任の広報担当スタッフを配置し、イベント情報や開花情報、また施設閉鎖などの情報を迅速に発信しており、円滑な公園を確保できていると考えている。新型コロナウイルスの影響により、イベントなどのPR活動を自粛する必要があったが、屋外での植物の開花情報や、他社のHPへの公園紹介の掲載などに力を入れ、日常的な公園利用者の底上げに努めた。</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th>A</th> <th>B</th> <th>C</th> <th>D</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="4">市広報以外にも積極的な広報活動に努めていることを評価します。</td> </tr> </tbody> </table>	A	B	C	D	市広報以外にも積極的な広報活動に努めていることを評価します。						
A	B	C	D											
市広報以外にも積極的な広報活動に努めていることを評価します。														
2 自主事業その他														
<p>▽ 自主事業</p> <p>▼ 売店事業 売上高1,530千円(計画160千円) ※PGクラブ、双眼鏡レンタル収入を含む。</p> <p>▼ 手数料事業(ガーデンショップ・レストラン・移動販売車・自動販売機・展示販売手数料) 売上高4,790千円(計画5,290千円)</p> <p>▼ イベント事業 売上高14千円(計画34千円)</p> <p>▼ その他収入 ※収益事業から公益事業への振替収入 2,071千円</p> <p>▽ 市内企業等の活用、福祉施策への配慮等</p> <p>▼第三者委託業務を市内企業に発注した。</p> <p>▼管理事務所・温室受付に、障がい者を2名雇用した。</p>	<p>自主事業の売上高は、売店事業が好調で計画を上回り、全体計画を達成した。手数料事業とイベント収入は、計画を達成できなかったが、展示会や花壇に植栽している植物に合わせた品揃えが好評で、施設休業・イベント中止による影響を、最小限に抑えることができた。</p> <p>承認済みの委託業務に対し、適正に発注・対応をしている。また、スタッフに欠員が出た際は、ハローワークへの求人等で障がい者募集を積極的に行い雇用の窓口を広げている。</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th>A</th> <th>B</th> <th>C</th> <th>D</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="4">新型コロナウイルス感染拡大防止のため臨時休館もあった中、公園の特徴を活かした自主事業の実施に努めていることを評価します。</td> </tr> <tr> <td colspan="4">市内企業の活用や福祉施策への取り組みに努めている点を評価します。</td> </tr> </tbody> </table>	A	B	C	D	新型コロナウイルス感染拡大防止のため臨時休館もあった中、公園の特徴を活かした自主事業の実施に努めていることを評価します。				市内企業の活用や福祉施策への取り組みに努めている点を評価します。			
A	B	C	D											
新型コロナウイルス感染拡大防止のため臨時休館もあった中、公園の特徴を活かした自主事業の実施に努めていることを評価します。														
市内企業の活用や福祉施策への取り組みに努めている点を評価します。														

3 利用者の満足度

▽ 利用者アンケートの結果

実施方法	<p>展示会等の参加者への回収式アンケート</p> <p>満足度についての札幌市の要求水準(指定管理者目標値)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公園総合満足度の要求水準 70%(75%) ・接遇満足度の要求水準 80%(85%)
結果概要	<p>盆栽、さつき盆栽秋季展参加者(9/11～9/22、回収式)60名</p> <ul style="list-style-type: none"> ・総合満足度は 82% ・接遇満足度は 72% <p>秋のサルビア展、ダリア展、秋の洋ラン展(10/1-10/18 回収式)91名</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公園総合満足度は 88% ・接遇満足度は72% <p>ツバキ展(2/23-3/21、回収式)88名</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公園総合満足度は 88% ・接遇満足度は 77% <p>全体平均</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公園総合満足度は 85% ・接遇満足度は 76%
利用者からの意見・要望・苦情等とその対応	<p>【要望】</p> <p>コロナウイルス感染拡大に伴い、遊具広場の利用過密を危惧する近隣住民から、遊具を使用禁止にして欲しいとの要望があった。</p> <p>【対応】</p> <p>札幌市の統一見解で、手洗いや離れて利用するなど、の掲示を行い利用させていると回答した。要望の内容を札幌市へ報告した。</p> <p>【苦情】</p> <p>豊平公園発行の緑のセンターだより5月号が、6月に入るのに置いていないのは怠慢であると申し立てた。</p> <p>【対応】</p> <p>ホームページから緑のセンターだよりをダウンロードして印刷した。苦情主は2時間後に再度来館したため、印刷したものをお渡した。</p> <p>【要望】</p> <p>当初遊具広場の閉鎖が5月31日までと掲示されていたが、未だに開放されないのはなぜか。子供がわかるような理由を掲示する必要があるのではないか。</p> <p>【対応】</p> <p>子供にも、分かりやすい内容の閉鎖理由の掲示を行った。</p>

アンケートの満足度については、総合満足度が札幌市の要求水準と指定管理者目標値をクリアすることができた。植物管理、景観、情報提供などが利用者から高い評価を受けたと考える。接遇満足度では、要求水準を達成できなかったアンケートがあった。新型コロナウイルス感染対策として、受付に設置した飛沫防止シートにより声の聞き取りづらさなどが考えられるため、接客方法や受付のレイアウト等も含めて改善し、満足度の向上に努めたい。

R2年度は、新型コロナウイルス関連、施設、管理、接遇、利用マナー等の苦情・要望が多岐に渡り苦慮したが、一件毎に親切丁寧に対応し処理できたと捉えている。その中でも、新型コロナウイルスの影響による公園利用者の増加などに起因する苦情が増えているため、札幌市と対応について協議をしながら改善を図っていききたい。

A	B	C	D
<p>接遇満足度は要求水準を下回っていたが、総合満足度が本市要求水準及び指定管理者目標値を上回っていることを評価します。</p> <p>新型コロナウイルス対策をした上で、公園の利用をさせていただくために、接客方法や受付レイアウトの工夫を行い、接遇満足度の向上に努めて下さい。</p>			

<p>【要望】 サイロ周辺にあるベニバナトチノキとアカバナサンザシの樹名板が、ロープ柵があって見えないため何とかしてほしい。また園内の花木には樹名板が付いていないものがあるので、付いていた方が訪れた方が興味を持たれて良いのではないか。</p> <p>【対応】 アカバナサンザシはサイロ周辺をロープ柵で立ち入り禁止としているため、ロープ柵前に移動することにした。ベニバナトチノキの樹名板は、以前にロープ柵前に移動しているため、見やすい位置に変更した。</p>
<p>【要望】 高校生が、交差点で他の高校生と自転車で衝突した。原因は、植栽されているモンタナマツにより、お互いの姿が見えなかったことで、危険なため対応してほしい。</p> <p>【対応】 当事者と一緒に現場を確認したところ、モンタナマツの枝により死角ができ、見通しが悪いことを確認し、すぐに対応することとした。</p>
<p>【要望】 緑のセンター内にある自販機のアイスは「屋外でお召し上がりください」と掲示しているが、コーヒー(カップ対応型)他の飲み物は館内でOKである判断基準をはっきりしてほしい。</p> <p>【対応】 レストランの営業を再開したため、掲示を外し館内が混雑した際は、外でのお召し上がりを声掛けするよう緩和した。</p>
<p>【要望】 P2駐車場のバス駐車位置に、いつも乗用車が駐車している。自身で注意したこともあるが聞く耳をもたない。公園側できちんと対処してほしい。</p> <p>【対応】 通常は、コーンを設置してバス駐車区画を確保しているが、新型コロナウイルスの影響で、バス利用が入らないため解除していた。バス利用が増加してきているため、再度コーンにて規制をする。</p>
<p>【要望】 駐車場の、出口・入口表示がはっきり見えない。土日の混雑時はガードマンが立っているが、道路から表示が見えないため事故の元である。遠くからでも見える表示方法を取ってほしい。</p> <p>【対応】 車道から見える位置に出入口表記の看板を追加した。</p>

<p>【要望】 世界の庭園入口近くでカラスに頭を突つかれそうになった。その先にある日本庭園などに行こうとしたが、カラスが低空で飛んで来るため諦めた。今後このようなことが増えるかもしれないと思い、対応を考えて欲しい。</p> <p>【対応】 世界の庭園入口から日本庭園にかけて、上空にテグスを追加し、注意看板を設置した。</p>
<p>【苦情】 移動販売車からアイスを購入したが、販売者がマスクと手袋を着用していなかったため、新型コロナウイルスが心配なので業者名を教えて欲しい。</p> <p>【対応】 業者に確認したところ、暑かったためマスクを外していた時間があったとのことで、接客時にはマスク着用を徹底するよう指導した。手袋については、札幌市のガイドラインに記載はないが、今後着用することにした。</p>
<p>【苦情】 他の利用者が自転車に乗ってスピードを出し危険走行をしていたので、注意をしたら逆切れされた。5年間ウオーキングで園内を利用しているが、小さい子供も歩いているし、事故の無いよう規制すべきではないのか。また、南口入口には自転車での乗り入れ禁止表示があるが、園内の乗り入れは禁止ではないのかとのことであった。</p> <p>【対応】 園内での自転車走行に対しスピードを出さないよう注意掲示を行い、南口入口では、一度自転車を降りて入園する掲示を設置した。</p>
<p>【苦情】 リリートレインの発車前に切符を購入し、乗ろうとしたところ満席で断られた。その後30分待ち、次の便に乗ろうとしたところ再度満席で断られた。30分待ったのに乗れないとはどういうことか。どこで順番待ちをするのか何の説明もなく、ただ乗れませんと高圧的に言われた。</p> <p>【対応】 対応したスタッフは、高圧的な対応はしたつもりは無いが、混雑や発車時刻が迫っていたため、言葉足らずの部分があったかもしれないとのことであった。苦情主は乗れなかった不満や事前説明に不足があり、管理事務所へ苦情を申し出た。混雑時には、増員を図り細かい対応を行うこととした。</p>
<p>【要望】 利用券購入時にサピカなど電子マネーを、利用できるようにしてほしいとの要望があった。要望者は普段から現金を持ち歩かないことと、新型コロナ感染防止対策としてお金を直接触りたくないとのことであった。この件について、札幌市へ要望を出すよう管理事務所へ伝えてほしいとのことであった。</p> <p>【対応】 今後、券売機の更新時に導入を検討する。</p>

【苦情】
 百合が原公園のボランティア募集に応募しようとしたが、定員オーバーで断られてしまった。定員オーバーが想定されるならば抽選にするべきではないか。一部の専門家や関係者が優先されているのではないか。

【対応】
 例年よりも反響の大きい媒体を利用して募集を掛けたため、想定よりも多くの応募があり、定員を超過した。募集は先着順であり、定員を超過することを想定していなかったため、定員に達した際の対応が不十分であった。
 次回、ボランティアを募集する際には、全ての希望者が平等に参加/応募の権利を得られるように、抽選等も含めて対応を検討したい。

4 収支状況

▽ 収支

(千円)

項目	R2年度計画	R2年度決算	差
収入	148,980	153,038	4,058
指定管理業務収入	143,496	144,633	1,137
指定管理費	130,140	130,140	0
利用料金	13,356	11,263	▲ 2,093
その他	0	3,230	3,230
自主事業収入	5,484	8,405	2,921
支出	148,980	148,307	▲ 673
指定管理業務支出	148,148	142,294	▲ 5,854
自主事業支出	832	6,013	5,181
収入-支出	0	4,731	4,731
利益還元	0	0	0
法人税等	0	11	11
純利益	0	4,720	4,720

▽ 説明

- ▼ 利用料金収入は、新型コロナウイルス拡大防止の観点から、4月14日から5月31日の期間を閉鎖したことや、その後もコロナ禍の影響を受け、計画より2,093千円の減となった。
- ▼ 自主事業収入は、新型コロナウイルス緊急事態解除後に情報発信を積極的に行い、レストランでのゆり根を使ったメニューや団体客向けメニューの開発、植物展示会に合わせたガーデンショップでの多彩で品質の良い商品提供の結果、計画より2,921千円の増となった。
- ▼ その他収入は、「札幌市都市公園の維持管理に関する協定における新型コロナウイルス感染症拡大に関する確認書」による収入補填である。
- ▼ 指定管理業務支出は、新型コロナウイルス感染拡大防止による休館に伴う光熱水費の減少や、修繕費、原材料費等の節約で、計画より5,854千円の減少となった。
- ▼ 自主事業支出は収入増加に伴う支出増及び事務局経費の増加で、計画より5,181千円の増となった。
- ▼ 自主事業のうち収益性のある事業から生じた収入については、公益法人の特質上、利益の約半分を公益目的事業に繰り入れている。

収入については、新型コロナウイルスによる休館により減収となったものの、自主事業収入の増と札幌市からの補償により、計画よりも増収となった。支出については、ワークライフバランスを考え、草地の不陸整生等による草刈り作業の効率化やスタッフ対象に剪定技術研修会を開催し、品質を向上させながら作業を効率化したことにより、超過勤務の削減を図った。また、デマンドコントローラーの設置や燃料使用料等の日常的な監視により、光熱水費の抑制に努めた。機械や設備の一部を直営で修繕したことによる修繕費の抑制や、植物リサイクルにより堆肥等を自給し原材料を効率的に使用することで、支出節減に努めた。

A	B	C	D
新型コロナウイルスの影響がある中、支出節減に努め、自主事業が計画を上回っている点を評価します。特に、支出軽減のため、草刈作業の効率化やスタッフ対象に剪定技術研修会を行い、品質向上と作業効率化を行ったことについて、評価します。今後も、研修会等を実施し、品質向上と作業効率化に努めて下さい。			

<確認項目> ※評価項目ではありません。

<p>▽ 安定経営能力の維持</p> <p>▼当協会の財務状況等は、令和2年度、赤字決算になる見込みはなく、運営安定化積立資産の留保金もあるため、安定経営能力に問題はない。</p>	/	適	不適
<p>▽ 個人情報保護条例、情報公開条例、行政手続条例、オンブズマン条例及び暴力団の排除の推進に関する条例への対応</p> <p>▼各条例の規定に則り、全て適切に対応した。 ▼情報公開請求はなかった。 ▼当公園の管理等に係るオンブズマンの実地調査はなかった。 ▼公園利用者に対する告知として、暴力団活動や暴力団の資金源となる活動に公園を使用できない旨の文書を園内に掲示した。 ▼物品購入や業務の委託等に際して、暴力団員や暴力団関係事業者を相手方としないよう徹底した。</p>		適	不適

Ⅲ 総合評価

【指定管理者の自己評価】	
総合評価	来年度以降の重点取組事項
<p>・維持管理作業については、新型コロナウイルスの影響により公園利用者が大幅に増加したため、利用者の安全確保に留意した作業計画の策定及び実行に苦慮したが、ほぼ計画通りに実施することができた。</p> <p>・草地の不陸修正やロープ柵の位置の変更による草刈等の作業の効率化を図った。また、剪定研修会の実施や国内はもとより海外からも植物栽培技術・知識を積極的に導入し、栽培技術の習得とともに管理水準の向上を図ることができた。</p> <p>・感染症予防対策として、施設の消毒や飛沫防止対策などの基本的な対策を徹底するとともに、スタッフの時差出勤や昼食場所の分散を導入するなど、衛星管理を適切に行うことができた。</p> <p>・広報専任スタッフを配置し、開花情報など公園のPRを行い利用者の増加を図った他、公園の情報を他社のHPに積極的に掲載し、日常的な利用者の増加を図った。また、施設閉鎖やイベントの中止においては、迅速に情報を発信したことで、利用者に大きな混乱を招くことなく処置することができた。</p> <p>・各施設の老朽化が進んでいるため、日常巡回・点検を行い、札幌市と協議をしながら予防処置、使用の中止処置を行い、安全安心な利用を確保した。また、強風による倒木などの危険が予測された場合には、事前に立入禁止処置を行い、利用者の安全を確保した。</p> <p>・札幌の花と緑の活動拠点として、専任のボランティアコーディネーターを配置し、ボランティア活動の支援を行った。また、植物愛好会との連携を強化し、冷涼な気候の札幌ならではの展示会や講習会を開催した。これらの活動により、公園のテーマに沿って、都市緑化の普及と地域交流の活性化を図ることができたと捉えている。</p> <p>・利用料金収入は、施設の閉鎖やイベントの自粛により収入目標を達成できなかったが、6月以降の施設営業再開後の、利用料金収入は前年比127%と大幅に増収となった。公園での感染対策の実施など、利用者が安心して公園を利用できるよう情報発信に努めたことで、利用者との収入の増加に繋がったと捉えている。</p> <p>・新型コロナウイルス感染拡大防止のため、札幌市と連携し公園の管理運営に努めた。</p>	<p>・新型コロナウイルスに関する影響により、公園や園芸に対する魅力が市民に再認識されているため、百合が原公園の利用者が大幅に増加していると捉えている。このため、感染防止策の徹底を図るとともに、点検の強化による施設の不具合の早期発見と、利用者及びスタッフの安全確保に留意した作業計画を立案し、安全安心な公園利用を推進したい。</p> <p>・引き続きPDCAサイクルを活用して、作業の効率化を図り削減分を、ユリや樹木など公園のテーマとなっている植物の管理技術の向上や情報収集に充てることで、百合が原公園ならではの景観を育成し、利用者の満足度の向上に繋げたい。</p> <p>・花と緑の活動拠点として、都市緑化を通して地域交流の活性化を図るため、ボランティアや植物関連団体、植物愛好会への活動の支援と連携を強化し、百合が原公園の価値の向上を図りたい。</p> <p>・老朽化した施設修繕について、札幌市と連携・協議して対応を進めたい。</p>

【所管局の評価】	
総合評価	改善指導・指示事項
<p>新型コロナウイルスの影響がある中、臨時休館や施設の再開の際には新型コロナウイルス感染拡大防止に努める等、利用者の安全確保に取り組んだことを評価します。また、海外の施設との情報交換や広報活動による情報発信等、積極的な活動を行っていることを評価します。コロナ禍の中、公園利用者は増えており、百合が原公園への期待が高まっています。百合が原公園としての特徴もよく活かされており、概ね良好な維持管理状態であると判断できます。</p> <p>引き続き、緑や花に関する情報発信の拠点として、魅力ある公園を目指して下さい。</p>	<p>上記の所管局評価を参照してください。</p>